



5年目のメンテナンス あっぷるおひさま発電所

学校法人蛸池学園あっぷるこども園の泉潔理事長から「発電所のメンテナンスはどうなっていますか？」との問い合わせがあり、設置から5年が経過したということもあって、5月16日（月）午後1時半から「あっぷるおひさま発電所」のメンテナンスを行いました。

点検は、設置を担当した林敏秋さん（現・認定NPO法人きょうとグリーンファンド）にお願いしました。会からは、山崎博文、前田良一、小野やよいの3理事がの立会い、パネルの拭き

掃除も行いました。

ソーラーフロンティアの太陽光パネルについては、表面の傷・破損、フレームの破損・変形、架台・金具の腐食・さび、架台の固定状況、接続ケーブルの損傷、配線間の損傷・破損等の項目の点検を行い、判定はすべて良かったです。接続箱、パワーコンディショナーの点検もすべて良で、今後も発電は順調でしょうということでした。泉潔理事長には後日、点検報告書を持参して報告し、安心していただきました。



第9回通常総会の報告

第9回通常総会を2022年5月28日（土）午後1時半から、曾根の豊中環境交流センターで行いました。

出席者11人、書面20（委任状16人、すべて賛成4人）で会員44人の過半数をもって成立、

すべての議案について満場一致で可決しました、ありがとうございました。その後、会員から「電磁波による危険性」について意見がありましたので、今後学習会等ができればと考えています。

総会后、「じぶん発電」の組み立て講座を行いました。参加された方からのお便りを4面に掲載しました。

「能勢スタディツアー」を行いました！

「エコネットよどがわ」 & 「豊中市民エネルギーの会」共催

この企画は2021年9月4日の“「ゼロカーボンへの第1歩」高校生が考えるエネルギーで町おこし”の報告会に参加した「エコネットよどがわ」さんが、その内容に賛同し、現地でさらにお話を聞きたいとの申し出で実現しました。活動を連携していただいたことに心より感謝します！

2022年5月21日（土）、『カジノ住民投票』の署名活動のために参加を断念した会員もおられる中でのプログラムでしたが、「エコネットよどがわ」9人、「豊中市民エネルギーの会」9人の参加で、車やタクシーで能勢の浄瑠璃シアターに集合しました。内容は次の通りです。

プログラム

- 10時半～ 「能勢・豊能まちづくり」について
榎原友樹さんのお話
- 11時半～ 「府立豊中高校能勢分校」について
内田千秋さんのお話
「能勢の高校を応援する会」について
西田彦次さんのお話
- 12時半～ 参加者全員での写真撮影
美味しいお弁当を食べながら交流会
- 13時半～ 「細河小水力発電の取り組み」について
一樋さんのお話
- 14時半 終了、現地解散

「能勢・豊能まちづくり」 代表 榎原友樹さんのお話

榎原さんのお話はおよそ次の3点です。

1. 地球は46億年の流れの中で、ながい間一定の温度を保持してきたが、ここ100年間で一気に上昇している、このままでは地球の環境が破壊する。
2. 環境破壊を防ぐにはCO2を出さない生活が必要で、そのために、エネルギー政策をどう



進めるかが重要になり、

- ① 原子力発電を選び、福島原発事故のような人工災害を起こしていいのか。
- ② 化石燃料の輸入額年間20兆円を払い続け、世界の経済状況に左右され高騰する電気代を払い続けるのか。
- ③ 国内にある自然資源を利用して電気エネルギーを作って、輸入に支払う20兆円を国民のために使うのか。

この3択を迫られている。「能勢・豊能まちづくり」では、③を選び、自然を生かしたエネルギーづくりで、地域を元気にしたい。

3. 私たちは電気エネルギーを賢い方法で使っているのだろうか？

- ・車1台を1人がそれぞれ使う、これを工夫することはできないか。
- ・電気代は、1時間ごとに変動していて、1番安いのは昼の12時ごろ、1番高いのは夕方6時～7時ごろになる。それを考えて電気を使うように工夫する。

これらの内容を、1日の車の使用エネルギーの変化を1時間ごとのグラフで見える化し、見ただけで、エネルギーの使用が多い時間少ない時間をはっきりさせていたので、日々の生活を考えるいい材料になりました。

このような資料は、「まちづくり」の基盤となり、説得力があります。

電気代についての資料では昨年末からの高騰の様子と最近の電気代の表を提示し、説明してくださいました。

少し加えると、2021年12月下旬頃から、電気市場の電気需要がいっぱいになり、余裕がなくなって電気不足になりそうになり、今年の1月中頃には普通は1kWh 7～8円の電気代が何と262円まで値上がりしました。これを受けて多くの新電力会社が高額を支払いができず危機に瀕しています。その後、経産省は法整備をし、電気代を1kWh200円までにすると決めました。

しかし、最近の電気代は1kWh30円ぐらいで、それも以前の1kWh 7～8円と比べれば3倍以上になっています。この値上がりは、化石燃料を使う火力発電所の石油・天然ガスを輸入せねばならない日本は、ロシアがウクライナを侵攻した世界状況で、世界の流通の影響を受け値上がりしているのです。

電気代を考えるなら、また物価の状況を考えるなら、食料や電気をできるだけ自国で賄えるようにするのが1番です。

「府立豊中高校能勢分校 グローバルコーディネーター」 内田千秋さんのお話

府立能勢高等学校から豊中高等学校能勢分校になったいきさつを説明。能勢分校の特色として、里山留学制度、海外からの留学制度もあり、グローバルな教育内容が実践できている。



今年の入学生は36人でそのうち16人は町外からで、E-bikuで通学している生徒もいる。

ここ数年、生徒たちが「消滅可能性都市」として挙げられている能勢町を「再生可能エネルギーで元気にしたい」と取り組んできた経過も報告、2019年には町が支援して能勢分校生4人が町長らと一緒にドイツに視察に行き、エネルギー政策や環境問題について学んできた。そんな高校生の働き掛けで「能勢・豊能まちづくり」の新電力会社が設立された。

能勢分校エリアの公共交通は阪急バスしかないが、その路線バスの本数が減らされ、土、日は休止になってしまった。そこで、昨年「中山間エリアの高校通学における交通課題の解決と教育効果の測定」のプロジェクトが結成され、東京大学や様々な大学、教育、交通等を専門にする方々と研究を行っていて、能勢分校生はE-bikuで通学する方式になりつつあり、今年は24台になる。このE-bikuの充電の方法を太陽光などの自然エネルギーで賄えないか考えているところです。

「能勢の高校を応援する会、 町ぐるみ応援団」 代表 西田彦次さんのお話

豊中高等学校能勢分校が存続しているのは、奇跡なんです、ずっと定員割れなんです。大阪府では、定員割れが3年続いたら廃校になるんですが、そうなったら能勢地域の子どもたちは、地域で教育を受ける権利がなくなります、それではだめだと地域で存続の方法を考え、府に訴えて、豊中高校の分校として存続できました。



応援団は、今では能勢分校の教育活動の助成や支援、里山留学生や海外からの留学生の支援、ホストファミリー等を担当しています。

「細河小水力発電の取り組み」 一樋さん (エコネットよどがわ会員)

最初の計画では、^{ほそこう}「細河小水力発電所」の現地見学会を予定していましたが、現地の都合もあって今回は見学ができず、プレゼンテーションでの報告となりました。



「ターボ水車発電」の本体を持参して(かなりの重量でした)、これを「池田市の旧細河小学校跡地」に設置、本体を裏返すと中に水車のような羽がついていて、それが水の力で回ってエネルギーになる仕掛けでした。

水量は少ないながら落差が若干取れ(約10メートル)、導水管延長250mを使い、かつ水利権や行政の管理主体の範囲が比較的条件がそろうという恵まれた環境もあり、池田市のシンボルとなっている「五月山」の排水路のながれを利用しています。

映像で説明がありましたが、川の流れや水量は実際に見たほうがわかりやすいので、いつか現場を見たいと思いました。

豊中情報サロンで展示 「NATS」の映像を 大型モニターで放映！

豊中情報サロンの展示は、広報「とよなか」6月号で「NATS」の取り組みが紹介されるのに合わせて、前号でお知らせした「NATS」の映像を流すことにして、市から大型モニターを借りて実施しました。

大型モニターの映像は通行人の目を引き、立ちどまってみる人が多かったです。

初日に見入る男性に声をかけると、「吹田の住人ですが、こんなことやっているんですね、いいですね」と話してくださいました。

もちろん、いつものようにあつぷる発電所の幕や、5月21日に実施した能勢スタディツアーの簡単な報告も展示しました。

展示期間は5月24日から6月21日までで、期間中の6月11日には「地球があぶない！」の講座を山崎博文理事の担当で行いました。



じぶん発電 井上発電所

5月28日、豊中環境交流センターで行われた組み立て講座で、自分で購入した資材を組み立てました。ラジオを聞いたり、扇風機に利用しています。物干し竿を二本並べてパネルの向きを変えつつ、効率の良い方法を検討中です。

池田市、井上美知子さん



特定非営利活動法人・豊中市民エネルギーの会
連絡先 560-0034 豊中市蛸池南町3-2-11-105
電話 06-6843-3568 (FAXも同じ)
メール masumi-e@hotmail.co.jp
郵便振替 口座記号番号 00920-2-332550
加入者名 豊中市民エネルギーの会